

臨床研究活動を実践するためのノウハウを向上させ、医療薬学の進歩発展を図る

第2回 医療薬学教育セミナー 『臨床研究成果を論文にするために』

臨床研究活動を実践するためのノウハウがなく、また研究指導を受けられる環境にない病院・保険薬局に所属する薬剤師は少なくありません。

日本医療薬学会医療薬学教育委員会では、薬系大学や臨床研究の実践力を有する病院などと連携しながら臨床研究に取組み、臨床上あるいは臨床研究上の問題を解決し、その成果を学会発表から論文文化に繋げるための教育的なセミナーを企画いたしました。

第2回目は、最終的に論文にすることを指す上での研究計画の立案、研究倫理への配慮、実施、学会発表から論文執筆までの留意点など、実践例をご紹介しますながらレクチャーいたします。

記

開催日	2018年4月22日(日)
場所	日本薬学会 長井記念館地下2階ホール
主催	一般社団法人日本医療薬学会 医療薬学教育委員会
対象	薬剤師、大学教員、薬学生、その他
参加費	本学会会員 正会員 4,000円 学生会員 <u>無料</u> 一般 社会人 6,000円 学生 2,000円
参加登録	事前参加登録が必要です。2月頃より医療薬学会HPで受付を開始します。

<プログラム>

開会挨拶 (10:00~)

基調講演1 (10:05~10:55)

寺元 剛 (北海道大学病院 臨床研究監理部)

「臨床研究に絡む規制と倫理的考論 ~人を対象とする研究の実践を目指して~」

基調講演2 (10:55~11:45)

野田 幸裕 (名城大学薬学部、医療薬学編集委員)

「初めての論文作成・投稿に向けて(仮)」

昼食 (75分)

特別講演 (13:00~14:00)

山村 重雄 (城西国際大学薬学部)

「臨床研究を論文にする際の統計解析：押さえるべきポイントと落とし穴にはまらないために」

休憩 (15分)

シンポジウム (14:15~16:00)

飯嶋 久志 (千葉県薬剤師会)

「薬局でできる臨床研究 ~計画から倫理審査、論文投稿に向けて~」

水野 貴仁 (公立陶生病院 医療技術局薬剤部)

「薬剤師として論文を書くために実際にしてきたこと、苦労話などについて」

石井 直子 (柏市立病院 薬剤部)

「一般病院の薬剤師が臨床論文を書くために ~大学薬学部との連携~」

総合討論

閉会挨拶 (16:00~)

(本プログラムは、変更される場合があります。)

<認定単位>

日本医療薬学会 認定薬剤師資格更新研修 (5単位)

日本薬剤師研修センター認定研修 (3単位：申請予定)

<照会先>

一般社団法人日本医療薬学会事務局

E-mail : info@jsphcs.jp 電話 : 03-3406-0787